

【主イエスとの出会い】 ～羊飼いの信仰姿勢に学ぶ～

【聖書箇所】 ルカ 2:1～20

2:1 そのころ、全世界の住民登録をせよという勅令が、皇帝アウグストから出た。2:2 これは、クレニオがシリアの総督であったときの最初の住民登録であった。2:3 それで、人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に向かって行った。2:4 ヨセフもガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。彼は、ダビデの家系であり血筋でもあったので、2:5 身重になっているいなずけの妻マリヤもいっしょに登録するためであった。2:6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリヤは月が満ちて、2:7 男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。2:8 さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。2:9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。

2:10 御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。2:11 きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。2:12 あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つめます。これが、あなたがたのためのしるしです。」2:13 すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢が現れて、神を賛美して言った。2:14 「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」2:15 御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」2:16 そして急いで行って、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごとを捜し当てた。2:17 それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について告げられたことを知らせた。2:18 それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに驚いた。2:19 しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。2:20 羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

【この聖書箇所を理解する為に】

【1】全世界の住民登録をせよ(2:1)

ローマの内乱を平定し、ローマ帝国の初代の皇帝となったアウグスト・オクタ비아ヌスは、徴税の為に何回か人口調査の勅令を出した。ここでの勅令は、BC8年に出されたもので、実際には、BC6年に実施された。

【2】ユダヤのベツレヘムというダビデの町(2:4)

バビロンへ強制連行(BC586年)されたイスラエル人が帰還した時、ダビデの家系の者がベツレヘムに住む事を決めてから、ベツレヘムは『ダビデの町』と呼ばれるようになり、ダビデ家系のいわば本籍地となった。又、救い主がベツレヘムで誕生するという事については、主イエスの誕生の約700年前に預言者ミカによって預言されていた。

【3】布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりご(2:12)

当時、貧しくても、出産に伴い産着ぐらいは用意されていたが、準備ができず、あり合わせの布にくるまれていた。又、飼葉おけというのは、ほら穴の壁のでっぱった、“岩”であったと言われている。生まれたばかりの赤子の環境としては、非常に粗末な状況であった。

●私達も、神の言葉どおりになると「_____」、探し続けよう。

当時の羊飼いは、羊の番をする為に野宿し、何日も家に帰れないなどの仕事の過酷さと、安息日（現在の土曜日）でも神殿の儀式に参加できない信仰的な理由等から、当時の人々からは嫌われていた職業であった。

しかし、どのような人をも見捨てられない神は、天使を通して、最初にこの羊飼いや達に救い主誕生の知らせを伝えた。

天使が、羊飼いや達に伝えた、“救い主としてのしるし”は、「ありきたりの布にくるまれ、飼いやおけの中に寝かせてある。」という事であった。何百年も前から約束されていたダビデ王家の救い主となれば、王宮や豪華絢爛な家を想い浮かべそうである。しかし、羊飼いやは、天使を通して語られた神の言葉をそのまま信じ、すぐに行動に移した。又、聖書に『捜し当てた。』という言葉があるが、これは羊飼いや達が、何軒も何軒も尋ね周った事を示す。1～2 軒尋ねて、見つからなかったら、あきらめたのではなく、「かならず主の言葉どおりのはずだ。」と信じて、探し続けたのである。

その結果、羊飼いやは、一番最初に主イエスに出会う特権に預かった。

私達も羊飼いや達のように「主の言葉どおりになるはずだ。」と信じ、すぐに第一歩を踏み出す者となろう。又、すぐに思った通りの結果にならなかったとしても、信じて行動し続ける者となろう。

そうするなら、今、私達がどのような状況であったとしても、神の言葉どおりの結果を体験し、「主イエスは神の言葉どおりの方だ。」という主イエスとの出会いを益々体験する事ができる。

●聖書の約束

みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってはけません。ヤコブ1の22

●特に教えられた事、決心した事など
